

日本工学院北海道専門学校紹介

nkhs

未来の可能性を 広げる環境がここにある

文化・教育・福祉の充実を重点施策としてまちづくりを進める市の強い要請を受け、日本工学院北海道専門学校が開校したのは、昭和57年4月。

以来、札内の大地から夢を持ち、その道のプロとして生きていくための、専門知識と技術を修めた多くの若者たちを社会へ送り出してきました。

今月号では、日本工学院北海道専門学校の学科や進学、就職活動のサポート体制などを紹介します。



多彩な学科をそろえ、 多くのエキスパートを育成

さまざまな分野のエキスパートを数多く育成してきた日本工学院北海道専門学校。マルチメディア・コンピュータ・公務員系、エンジニアリング系、建設系、医療系と多彩な学科（10・11ページ『学科紹介』をご覧ください）をそろえ、これからの社会を担う若者たちが、未来のために興味あることを学んでいます。

さらに知識を増やしたい 学生のために

大学3年次編入制度

平成10年度に学校教育法の一部が改正され、専門学校から大学3年次に編入できる制度ができました。

日本工学院北海道専門学校からは、この制度を利用して東京工科大学（姉妹校）や室蘭工業大学などに、これまで45人が編入しています。

今年度も4人の学生が編入試験に合格。室蘭工業大学には、10年連続で合格者を輩出しています。

学生の就職活動を しっかり、サポート

日本工学院北海道専門学校は、学生の就職活動をサポートするため、1年次から2年次にかけてさまざまな就職対策を講じています。



1年次後期の就職ガイダンスでは、学校が独自に製作している『キャリアアサポートブック』を配付。この冊子をもとに企業訪問の仕方や履歴書の書き方、面接の受け方など就職活動に必要な基礎知識を身に付けます。その後、入社試験や面接に慣れるため、就職模擬試験や模擬面接を行います。

さらに企業の方を招いた就職セミナーや学内、札幌で開催される合同企業説明会への参加などを通して、学生の就職に対する意識を高め、内定を獲得するまでしっかりとサポート

トしています。

医療事務の仕事には欠かせない 難関資格に多数の合格者

平成19年度から開設した医療秘書科では、1年次から医療事務に欠かせない資格の取得にチャレンジしています。

授業や補講だけでなく、独自の模擬試験など試験前の対策講座を実施して強力に資格取得をサポート。これにより、医療機関の事務の中でも最も重要な業務の一つである診療報酬明細書（レセプト）の作成能力を認定する『診療報酬請求事務能力認定試験』（全国平均合格率33・3%）に14人（合格率56・0%）が合格しました。

また難関な資格である秘書技能検定準1級（全国平均合格率31・6%）に3人が合格するなど、早くも高い実績を出しています。

